

平成27年6月吉日

各 位

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団

理事長 朝倉邦造

高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」  
候補ご推薦のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の諸事業に対しご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本人の活字離れ、読書離れが言われて久しいものがあります。昨今、失われつつあるモラルを取り戻すには、知識に加えて情緒や感性を育む読書活動の活性化が最良の手段であると考えられます。

すでに全国各地では、多くの方々が文字・活字文化の振興に向けてさまざまな活動を実践し、着実な成果を上げておられます。私ども高橋松之助記念顕彰財団は、この流れをさらに強めることに寄与したいと考え、「高橋松之助記念」表彰という形で、文字・活字文化の振興、推進に貢献している日本全国の動きを顕彰してまいりました。

「高橋松之助記念」の大賞は、具体的には、1) 朝の読書活動を推進している小、中、高校などを対象にした「朝の読書大賞」と、2) 文字・活字文化の振興に貢献し業績を上げられている地方自治体、団体、個人などを対象とした「文字・活字文化推進大賞」の2部門で成り立っています。

そこでお願いですが、全国各地の学校の活動状況や、地方自治体などが進めている文字・活字文化振興に関する施策、各地域の読書推進活動など、地域の情報に詳しい自治体、団体、書店、報道関係など有識者の皆さまに、これらの賞に該当しそうな候補校、候補団体、候補者などをご紹介いただきたいのです。最終選考は選考顧問の先生方によって行われますので、実施要項にお目通しのうえ、どうかお気軽にまた大胆にご推薦いただきたく存じます。

同封の記入用紙に、ご紹介いただく学校、地方自治体、団体、個人の名前と、推薦理由（これが大事です）をご記入いただき、7月31日（金）までにご返送いただければ幸いです。ご多忙のところまことに恐れ入りますが、「日本の将来がかかっている」とお思いくださってご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

平成27年6月吉日

各位

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団 事務局

## 第9回 高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」

### 候補ご推薦および告知のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の諸事業に対しご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」もおかげさまをもちまして今年で第9回目を数えることになりました。公益社団法人全国出版協会が平成19年に創設し、一昨年から当財団が事業を引き継いでこの8年間に36の小中高校・団体・個人を表彰してまいりました。

故・高橋松之助氏（トーハン元社長）を記念した本賞は、読書推進と文字・活字文化振興に貢献し、業績を上げられた学校、地方自治体、団体、個人等に対して授与するもので、自薦、他薦さまざまな形で候補を募集しております。

具体的には、貴台からのご推薦をお待ちするほか、学校、自治体、読書団体、図書館、個人などからのご応募をいただきたく、貴台より管内、地域内の学校、図書館、関係団体などへも広く告知いただければ誠に幸いに存じます。この応募文書一式のデータが必要な場合は下記事務局までご連絡下さいませ。

当財団のホームページでは、この賞についてのご案内や過去の受賞者一覧などを掲載しており、応募用紙のダウンロードも可能です。どうぞご活用ください。

なお、この文書一式は、都道府県の教育委員会、全国市区町村の教育委員会、都道府県の図書館（中央館）、私立高校、過去ご応募いただいた学校、報道機関、書店関係団体の皆さま宛てにもお送りしています。

選考は8月から9月にかけて行い、10月29日（木）に都内で贈呈式・祝賀会を開催する予定ですが、受賞の皆さまには贈呈式・祝賀会にご招待申し上げますのでお含み置きください。

つきましては同封の記入用紙に、ご推薦いただく学校、団体その他の名前と、推薦理由をご記入いただき、7月31日（金）までにご返送いただければ幸いです。積極的なご推薦、ご応募を心よりお待ちしております。

敬具

【公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団 事務局】

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町6-21

TEL 03-5225-9711 FAX 03-5225-9722 e-mail: [award@ajpea.or.jp](mailto:award@ajpea.or.jp)

homepage: [www.takahashi-award.jp](http://www.takahashi-award.jp)